

## 心の老齢化？

子供の頃は、誕生日は何と  
いっても楽しいもの。早く大きくなりたくて、次の誕生日が待ちきれない。でも、成人式を過ぎる頃にもなると、年月の過ぎるのがとてもはやく感じられ、その内、年を重ねることが喜ばしく感じられなくなる。さらには、自分の年さえもう覚えになってしまう……。ところが、年を老いてくると今度は年を重ねることがまた別の意味合いをもってくる。あとどのぐらい生きられるか、こればかりは自分では決められないが、もう一年生きられたことを感謝するようになる。

このように、年をとり、生きていることを感謝できる人は幸いです。でも、生きがいもなく、病気や将来を苦しめて、はやく死にたいと思いつつ生きている人もいます。これはお年寄りに限ったことではありません。最近では、「心の老齢化」が懸念されています。若いのに、夢もなく、生きることに疲れ、ただ仕方なく生きている人が増

えています。

ある人の書いた次の言葉は、考えさせられる言葉です。「人は何十年も生きたというだけで、老いるわけではない。人は、理想を捨て去ることによってのみ、老いる。歳月がたつと、肌にしわが寄る。しかし、人生に対する興味を失うなら、魂にしわが寄る。心配、疑い、自己不信、恐れ、絶望……こうしたものによって、人は老いて、頭をたれ、その魂はひからびてしまうのだ。」

ダグラス・マッカーサーはこう語りました。「年令に関係なく、誰の心にも、未知へのあこがれ、どんな難題にもひるまないぞという気持ち、次に何が起こるのかとわくわくする子供っぽさ、人生を喜び、楽しむ気持ちがある。われわれは、信仰がある分だけ若く、疑いを持つ分だけ年老いている。自信を持っている分だけ若く、恐れる分だけ年老いている。希望を持っている分だけ若く、絶望の分だけ年老いている。」心に信仰を持つことは、大きな違いをもたらします。

そうは言っても、「年には勝てないよ」と思われるかもしれません。でも、次の調査結果を見て下さい。調査の対象は400人の有名人でした。この400人は、その時代の最も著名な政治家、あるいは画家、軍人、詩人、作家でしたが、彼らの秀でた業績の内、35%がその人が60才から70才の間に成し遂げられ、23%が70才から80才の間、そして、80才を越してから成し遂げられたものも8%ありました。つまり、世界でも優れた偉業の66%が、60過ぎの人によって成し遂げられたのです。年をとっても心若く、進み続ける人と、若くして年取ってしまう人、あなたはどちらでしょうか？

### 年令 — それは心の質

夢を忘れ  
希望を失い  
もはや前方を見ることもなく  
情熱の炎が消えてしまったなら  
あなたは年老いている

だが、人生の最高のものを選び  
人生を楽しみ  
心に愛を抱いているなら  
どれだけ歳月が流れようと  
誕生日が幾度めぐって来ようと  
あなたは年老いてはいない！



老年は、若かりし頃とは違った装いをしているが  
若かりし頃に劣らぬ、素晴らしい時  
タベのたそがれが消えていく時  
空は、昼には見えなかった星でいっぱいになる！

—ヘンリー・W・ロングフェロー